

2024年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業 申請のためのガイドブック

このガイドブックは、（公財）仙台市市民文化事業団が実施する助成事業「2024年度文化芸術を地域に生かす創造支援事業（地域助成）」への申請を検討している方へ向けて、助成制度についてより詳しく説明するものです。

まずは、「募集要項」を必ずお読みいただき、その上で本ガイドブックをご活用ください。

目次

1. 助成の趣旨	… 2 ページ
2. 「A. 文化芸術の創造・発信事業」のポイント	… 4 ページ
3. 「B. 文化芸術と社会の連携推進事業」のポイント	… 9 ページ
4. 申請区分に迷ったら	…12ページ
5. 審査の視点について	…13ページ
6. 申請書類の記入例・記入時の注意点	…15ページ

【事務局（提出先・お問い合わせ先）】

公益財団法人仙台市市民文化事業団 総務課 企画調整係

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 日立システムズホール仙台1階

〔ウェブサイト〕 <https://ssbj.jp/support/> 〔電話〕 022-727-1875（平日8時30分～17時）

〔Email〕 申請書提出先： apply@bunka.city.sendai.jp

事前相談・問い合わせ・報告書提出等： chiiki@bunka.city.sendai.jp

1. 助成の趣旨

本助成の趣旨について、募集要項1ページ目では次のように説明しています。

仙台市では、文化芸術が持つ多様な力をまちづくりに生かすため、**「仙台市文化芸術推進基本計画」**の策定を進めています。（公財）仙台市市民文化事業団は、基本計画に基づく取り組みとして、2024年度「文化芸術を地域に生かす創造支援事業」を実施します。

本助成事業では、観光、まちづくり、福祉、教育等の他分野との連携により社会課題と向き合う公益性の高い文化芸術活動や、市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業の支援により、本市の文化芸術環境の向上や、文化芸術活動の新たな担い手の育成を図ります。また、これらの支援を通じ、一人一人が生き生きと暮らすことのできる地域づくりに寄与することを目指します。

本助成は、市民の皆さんが実施する「観光、まちづくり、福祉、教育等の他分野との連携により社会課題と向き合う公益性の高い文化芸術活動」「市民に優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する事業」を支援することで、この計画の「目指す姿」の実現を目指すものです。

参考URL：「（仮称）仙台市文化芸術推進基本計画の策定に向けた検討状況」

<https://www.city.sendai.jp/bunkashinko/bunkakeikaku.html>

「仙台市文化芸術推進基本計画」の全体像

多様な個性が輝き、まちの未来を拓く ～ひとりひとりがよりよく生きる文化芸術の杜～

基本理念

(基本理念の考え方)

- 文化芸術は、人がよりよく生きる力の源であり、人と人とが共に生きていくうえで大切なものです。
- 一本一本の木がやがて豊かな「杜」となるように、ひとりひとりの多様な考え方や感じ方が受け入れられ、つながりが生まれることで、豊かな社会が形成されます。文化芸術は、多様な個性が輝くことで発展し、また人と人をつなぐ架け橋としての役割を通じて、多様性（ダイバーシティ）と包摂（インクルージョン）を備えた社会の実現に大きな力を発揮します。
- 本市は、年齢や障害の有無、国籍等に関わらず、あらゆる市民に文化芸術を享受する機会や、自由に創造する機会が与えられることを目指します。また、ひとりひとりの生き方を尊重し、多様な担い手が対等に連携し合うことで、様々な創造的な活動を育んでいきます。
- また、創造的な取り組みの輪を、ここ仙台から世界に広げていくことで、多様な担い手が世界中から集い交流し、より大きく、豊かな「杜」に育っていくものと考えます。

目指す姿

- 1 あらゆる人に参加機会が与えられ、文化芸術に親しめるまち
- 2 多様な文化芸術活動が展開され、その担い手が育まれるまち
- 3 子どものときから文化芸術との出会いがあり、若者のチャレンジを応援するまち
- 4 歴史と記憶が継承され、未来を描く礎となるまち
- 5 文化芸術によって都市の個性が磨かれ、人を惹きつけ躍動するまち

重点プロジェクト

- 1 文化芸術の担い手を育む協働プロジェクト
- 2 創造性をひらく子ども・若者プロジェクト
- 3 杜の都の新たなシンボルとなる文化拠点整備プロジェクト
- 4 文化コンテンツによる賑わい創出プロジェクト

基本施策

- | 目指す姿1関連 | 目指す姿2関連 | 目指す姿3関連 | 目指す姿4関連 | 目指す姿5関連 |
|-----------------------|----------------------|--------------------|-------------------------|-----------------------|
| ①文化芸術に親しめる環境づくり | ③市民の文化芸術活動支援 | ⑤子どもの文化芸術に親しむ機会の充実 | ⑦伝統芸能・文化財・民俗芸能等の継承・普及啓発 | ⑨「楽都仙台」「劇都仙台」の推進 |
| ②文化芸術による社会包摂に係る取組みの充実 | ④文化芸術の力を社会に生かす取組みの推進 | ⑥若い世代の表現活動への支援 | ⑧アーカイブの推進 | ⑩美術・映像を軸とした現代アート事業の推進 |
| | | | | ⑪多様なコンテンツを生かした賑わい創出 |
- 目指す姿1～5を横断する施策**

 - これからの文化芸術を支える仕組みの構築
 - 文化施設環境等の充実
 - 新たな文化拠点の整備
 - 効果的な情報発信の推進

仙台市文化芸術推進基本計画検討懇話会資料

「（仮称）文化芸術推進基本計画（最終案）[概要版]」より抜粋

2. 「A. 文化芸術の創造・発信事業」のポイント

● この事業で目指したいこと（募集要項P. 3）

A 枠で対象となる事業の形としては、「イベント」または「印刷物・動画などの媒体」、つまり文化芸術の作品等を「創造」したり、「発信」したりするものが該当します。

このような事業をとおして、仙台市の「文化芸術環境の活性化」や「まちの魅力向上」につながる重要なポイントとなります。

「文化芸術環境の活性化」の例

- 質の高い文化芸術事業が増え、市民の鑑賞・参加機会が増える
- 文化芸術関係者の活動環境が改善される

「まちの魅力向上」の例

- 文化芸術事業への参加を通じて、市内外の人がまちを好きになる
- 地域の文化や歴史を知るきっかけとなる

例えば、「助成金を利用してクオリティの高い作品を創造・発信することで、仙台の文化芸術シーンを盛り上げたい」、「仙台の歴史や地域の文化を発信して、まちの魅力を広く知らせたい」といった企画意図を持つ事業は、本区分に合致します。

● 「A. 文化芸術の創造・発信事業」に該当する事業の例

【公演・展示・上映等の創造活動】

- 仙台の文化芸術の活性化に寄与する創造性・独自性の高い上映会、公演、展覧会事業
- アーティストの交流等を促進する新たな作品の創造・発表事業
- 乳幼児も参加できる音楽会・公演

【フェスティバル・公募展・コンクール】

- 広域から出展作品を募集し、仙台で展示・発表することで、他都市・地域の文化芸術団体やアーティストとのネットワーク形成を目指す事業
- 複数の会場を活用したフェスティバルの開催により、まちの魅力向上に資する事業

【ワークショップ・トークイベント・アウトリーチ】

- 文化芸術を担う若手の育成・技術継承に資する事業
- 文化芸術の担い手のスキル・マネジメント力向上のための研修会・ワークショップ

【印刷物の編集・発行、アーカイブの作成・発信】

- 仙台を拠点に制作した作品・アートプロジェクトの記録集の発行事業
- 地域の民俗芸能の新たな観客創出のための、その魅力や価値を広く発信する事業
- 地域独自の文化や歴史を記録・編集し、書籍として発行する事業
- 仙台のアートシーンの変遷をアーカイブし、ウェブ・映像等を通じて広く発信する事業



● 事業の要件（募集要項P. 3）

（２）**新規事業**であること。定例的に行っている事業の場合は、新たな展開を行うこと。

定期演奏会や恒例イベントについて申請を検討している方は、この要件にご注意ください。

助成金を生かして新たに挑戦する点や改善点など、これまでとの違いが明確にわかるように申請書に記載してください。

（５）**仙台市内**で実施される事業であること

※仙台市内の個人・団体が主催し市外で開催する事業は、審査において市外で実施する意義がとりわけ高いと認められた場合に限り、対象となります。

本区分は「仙台市の文化芸術環境の活性化」「まちの魅力向上」を目的としていることから、市外に発信し、広い範囲で波及する事業も対象となります。

例えば、市外の地域で仙台の文化芸術を発信しその魅力を広める事業や、文化・歴史上のつながりがある他の地域と交流しながら創作する事業等は、審査でその意義が十分にであると認められれば対象となります。

市外で実施することでどのように仙台の文化芸術環境の活性化、魅力向上に貢献できるか、申請書に盛り込んでください。

● 対象者（募集要項P. 3）

仙台市内で実施される事業の場合、**対象者の拠点・所在地は市内・市外を問いません。**ただし、市外において行われる制作等にかかる経費は助成対象となりません。

本区分では、市外で活動している個人・団体が仙台市内で行う活動も対象とします。

特に、仙台市内の文化芸術関係者との交流を生むものや、仙台の文化・歴史に関連するものなどは高く評価されます。

どのように仙台の文化芸術環境の活性化、魅力向上に貢献できるか、申請書に盛り込んでください。

● 助成額（募集要項P. 4）

本区分は、助成上限額50万円、情報保障・鑑賞サービス補助上限額5万円、助成対象経費の助成率2分の1と定めています。

この場合、以下のような予算計画が例として考えられます。

【外部収入がある場合】

収入		支出
情報保障・鑑賞サービス補助	5万円	情報保障・鑑賞サービス費
地域助成 助成金	1/2	助成対象経費
50万円		100万円
外部収入 (入場料・協賛金・その他の助成金)		助成対象外経費
60万円		10万円
115万円		115万円

【外部収入がない場合】

収入		支出
情報保障・鑑賞サービス補助	5万円	情報保障・鑑賞サービス費
地域助成 助成金	1/2	助成対象経費
50万円		100万円
自己負担金 (会費、自己資金など)		助成対象外経費
60万円		10万円
115万円		115万円

助成金の上限額は、助成対象経費の2分の1、または事業全体の経費から事業収入を差し引いた額のいずれか小さい方となります。助成の対象となる経費について、助成金収入を充てない残りの助成対象経費、および助成対象外経費については、その他の外部収入を充てることができますので、自己負担金が発生しない場合でも申請できます。

「助成対象経費」「助成対象外経費」「情報保障・鑑賞サービス補助費」に該当する経費については、募集要項P.6、7をご参照ください。

3. 「B. 文化芸術と社会の連携推進事業」のポイント

● この事業で目指したいこと（募集要項P. 4）

B 枠では、文化芸術のもつ創造性を生かして、観光、まちづくり、福祉、教育等の他分野との連携により社会課題と向き合う事業を支援します。

これまで培った文化芸術での考え方やスキルを生かして、①一過性に留まらない波及効果が見込まれ、②地域や社会の課題に取り組む、③継続して行う事業が対象となります。

● 「B. 文化芸術と社会の連携推進事業」に該当する事業の例（募集要項P. 4）

【「観光・まちづくり」との連携】

- 観光・まちづくり団体と連携し、アーティスト独自の視点により新たに発見・発掘した地域資源をまちの魅力として広く発信するプロジェクト
- アーティストがまちづくり団体と連携して行う、地域の空き店舗や工場跡などを活用したアートプロジェクト。

【「教育」との連携】

- 教育機関と連携し、文化芸術を通じて子どもたちのコミュニケーション能力の向上や、豊かな学びを目指す事業
- 社会教育施設と連携し、地域の歴史や資料の掘り起こしを通じて、地域住民のコミュニティ形成に資する事業

【「産業」との連携】

- 地域の製造業と連携し、新たな作品やプロダクトを制作する事業

【「防災・災害文化」との連携】

- 震災の記録と記憶の継承に取り組む団体と連携し、映像による記録や発信に取り組む事業

【複数の分野との連携】

- 文化芸術の持つ発信力を活用し、見えづらい社会の課題を可視化し、その解決に向けた学び合いの場をデザイン（創造）する事業
- 地域の芸能団体や工芸等の職人が抱える継承の課題に、観光や教育機関等との連携を通じて取り組む事業

● 重点的に採択する事業（募集要項P. 4）

B区分では、「仙台市文化芸術推進基本計画」において目指す姿として掲げられている“あらゆる人に参加機会がひらかれ、文化芸術に親しめるまち”の実現に寄与するため、①「障害のある方による文化芸術活動の促進に取り組む事業」及び②「年齢や国籍、経済的な状況等に関わらずあらゆる人の文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図る事業」を重点的に採択します。

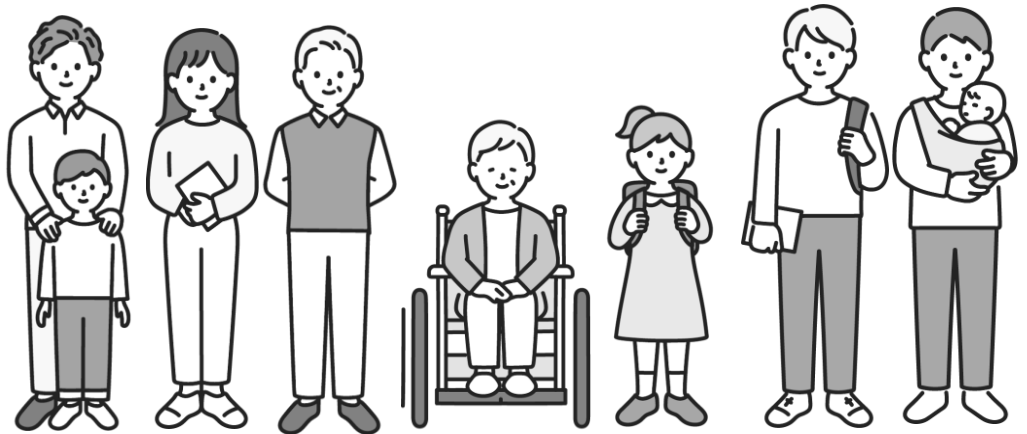
● 「重点的に採択する事業」に該当するの事業の例（募集要項P. 4）

【障害のある方による文化芸術活動の促進に取り組む事業】

- 障害や社会的な環境など、さまざまな理由で文化芸術への参加機会が得られなかった人を対象に、芸術の鑑賞や体験ができるようにする事業
- 障害がある方の創作・表現活動を支える人材を育成する事業

【年齢や国籍、経済的な状況等に関わらずあらゆる人の文化芸術の鑑賞、体験等の機会の充実を図る事業】

- 高齢者福祉施設と連携し、文化芸術活動を通じた高齢者のQOL（生活の質）の向上を目指す事業。
また、そこで働く職員のケアのためのワークショップ事業。
- 地域で展開するアートプロジェクトを通じて、在住外国人等、異なる文化的背景を持つ人との交流や相互理解を促進する事業
- 文化芸術活動を通じて、社会の中で生きづらさを抱える人の居場所づくりに取り組む事業
- 年齢や障害の有無を問わず参加できる音楽・演劇の創作公演



● スタートアップ枠（募集要項P. 5）

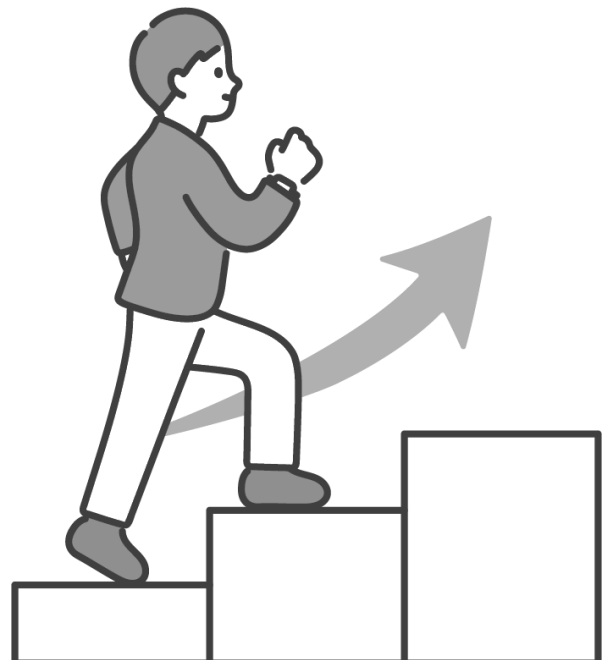
B区分は、「地域や社会の課題に向き合うもの」が対象となる事業です。文化芸術以外の分野との連携に踏み出すためには、関係づくりやリサーチなど、試験的・実験的な段階を経る必要がある場合も多くあります。

本格実施に向けてより丁寧に体制づくりに取り組もうとする事業を支援するために、今年度は「スタートアップ枠」を設けました。助成上限200万円の通常枠とは別に審査を行い、採択を決定します。

● 「スタートアップ枠」に該当する事業の例

- 障害のある人となない人が一緒に楽しめるフェスティバルの開催を目指して、初回としてミニコンサートのプログラムを企画し、実施する事業
- 高齢者を対象とした演劇ワークショップの開発に向けて、当事者とつながりをつくりニーズをリサーチする事業
- 翌年の手話劇の本格創作に向けて、実績のある団体を講師として招へいし、地元の俳優のためのワークショップを実施する事業
- アートプロジェクトの企画・実施の準備年として、地域を知り、住民との交流を深めるためのワークショップを実施する事業

※新たに挑戦する事業・本格実施に向けた試行的な事業であっても、通常の200万円の枠に申請することは可能です。ただし、申請する際には、通常の枠かスタートアップ枠のいずれか1つを選択してください。



4. 申請区分に迷ったら

A 枠と B 枠について、項目ごとの違いを整理しました。申請したい事業がどちらに該当するか、検討の参考にご覧ください。

A. 文化芸術の創造・発信事業		B. 文化芸術と社会の連携推進事業
▪ いつもより充実した公演・展示・イベントをしたい ▪ 作りたい作品・本・映像がある	事業の目標	▪ 今まで取り組んできた文化芸術を生かして地域の困りごと、社会問題に取り組みたい
▪ イベントの開催 (公演、展示、上映会、フェスティバル、コンクール、公募展、コンクール、ワークショップ、トークイベント、アウトリーチ) ▪ メディアを利用した作品発表 (本・ZINEなどの出版、映像作品・音楽アルバムの制作・発行等)	事業の形態	▪ リサーチや試行錯誤を重ねながら、じっくり活動の形を作っていくもの →このうち、活動歴の浅い団体・個人が新たに挑戦する事業／本格実施に向けた試行的な事業は「スタートアップ枠」に申請可（※） (複数のイベントを組み合わせた事業や、ロングラン公演・長期展示はA枠に該当します。)
▪ 市内で実施 →市内・市外の個人・団体が対象 ▪ 市外で実施 →市内の個人・団体が対象	実施場所・対象者	▪ 市内で実施 →市内の個人・団体が対象
助成上限額：50万円 助成率：対象経費の2分の1 ※別途、「情報保障・鑑賞サービス補助費」実費分上限5万円の補助あり	助成上限額・助成率	助成上限額：200万円 (スタートアップ枠50万円) 助成率：対象経費の10分の10
15件～20件程度	採択予定件数	7～10件程度 (スタートアップ枠含む)
▪ 2024年7月11日のキックオフミーティングへの出席（希望者のみ）	採択後	▪ 2024年7月11日のキックオフミーティングへの出席（原則必須） ▪ 2025年1月（予定）の事業報告会での発表（必須） ▪ 外部専門家によるレビュー

5. 審査の視点について

本助成事業の審査は、募集要項P. 9「審査の視点」から行います。

各助成区分ごとに、審査において高い評価につながるポイントの例を記載しました。下記を参考に申請書類を作成してください。

A. 文化芸術の創造・発信事業

(1) 先進性・独創性	新たな視点や工夫が取り入れられている。
(2) 文化事業としての質	文化的に質の高い成果が期待できる。 【ポイント】 ■ 作品や企画のコンセプトが、事業計画書、事業内容に関する補足資料等に明確に記載されている。
(3) 波及効果	地域・社会への波及効果が期待できる。 【ポイント】 ■ 市民に広く鑑賞・体験の機会を提供するための工夫がある。 ■ 文化芸術関係者の担い手育成に大きな効果が期待できる。 ■ 様々な背景、立場の人が参加できる工夫がある。 ■ 広域からの認知が見込まれるなど、仙台市の文化発信につながる。 ■ 他地域で活動する文化芸術関係者との交流を生む。
(4) 将来性・発展性	申請者の今後の活躍や事業の発展が期待できる。
(5) 実現可能性	企画内容、実施体制、手法、事業プロセス、予算計画等が実施のために適切なものとなっている。 【ポイント】 ■ 収支予算書に計上した経費の積算内訳が明確に記載されていて、かつ、事業計画書と整合性が取れている。 ■ 制作状況、出演者交渉、会場確保等の確定の状況や今後の見通しが事業計画書に記載されている。 ■ 申請者プロフィール、事業内容に関する補足資料に、申請事業に関連する活動実績が記載されている。
(6) 助成対象としての妥当性	本助成事業の目的や対象となる事業の趣旨に合致し、助成を得ることのできる事業である。

B. 文化芸術と社会の連携推進事業

(1) 先進性・独創性	新たな視点や工夫が取り入れられている。 【ポイント】 - 文化芸術と地域・社会との新たな関わり方を提示している。 - 文化芸術の新たな価値を提案する事業となっている。 - 既存の取り組みにないアイデアを提示している。
(2) 文化事業としての質	文化的に質の高い成果が期待できる。
(3) 波及効果	地域・社会への波及効果が期待できる。 【ポイント】 - 事業のプロセスや成果を市民や文化芸術関係者に広く発信するための工夫がある。 - 事業の実施を通じて、他の地域でも展開可能な事業モデルとなりうる内容になっている。
(4) 将来性・発展性	申請者の今後の活躍や事業の発展が期待できる。 【ポイント】 - 今回申請する事業をステップとして、今後どのような展開を見据えているかが事業計画書に明確に記入されている。 - 助成期間終了後も持続可能な体制・仕組みづくりの工夫がある。
(5) 実現可能性	企画内容、実施体制、手法、事業プロセス、予算計画等が実施のために適切なものとなっている。 【ポイント】 - 収支予算書に計上した経費の積算内訳が明確に記載されていて、かつ、事業計画書と整合性が取れている。 - 制作状況、出演者交渉、会場確保等の確定の状況や今後の見通しが事業計画書に記載されている。 - 申請者プロフィール、事業内容に関する補足資料に、申請事業に関連する活動実績が記載されている。
(6) 助成対象としての妥当性	本助成事業の目的や対象となる事業の趣旨に合致し、助成を得ることのできる事業である。

6. 申請書類の記入例・記入時の注意点

(提出書類1)

2024 年 4 月 日

公益財団法人仙台市市民文化事業団 理事長 様

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業 申請書

以下のとおり助成事業を申請します。

1. 事業について

事業の名称	
申請する 助成区分	下記のいずれか一つに☑をつけてください。 ☐ A. 文化芸術の創造・発信事業 ☐ B. 文化芸術と社会の連携推進事業 ☐ B. 文化芸術と社会の連携推進事業 スタートアップ枠

2. 申請者（主催者）について

※個人で申請する場合は、団体名の記入は不要です。
※団体名は広報物等の主催表記と同一の名称をご記入ください。

ふりがな			
団体名	申請者名（団体名、個人申請の場合は代表者氏名）は、 広報物等に「主催」として表記する名称と一致させてください。		
ふりがな		ふりがな	
代表者氏名		活動名・芸名	
郵便番号	〒		
住所	本名と別名義で主催者表記をする場合、「活動名・芸名」欄に その名義を記載し、「代表者氏名」欄には本名を記載してくだ さい。		
電話番号			
Eメール			
誓約事項	☐ 「暴力団等と関係を有している者」に該当しておりません		

※☑チェックをつけてください。

3. 申請・連絡担当者について（代表者と異なる場合はご記入ください）

※申請・連絡担当者をご記入いただいた場合は、通知の送付や事務連絡は申請・連絡担当者宛に行います。

ふりがな	
氏名	団体の場合のみ記載。 個人で申請する場合は、申請者本人が申請・連絡担当 者となります。
郵便番号	
住所	
電話番号	
Eメール	
役職・担当等	

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業
事業計画書
(A. 文化芸術の創造・発信事業)

1. 申請者（主催者）について

ふりがな	
団体名	※個人で申請する場合は、団体名の記入は不要です。
ふりがな	
代表者名	
ふりがな	
申請・連絡 担当者名	※代表者と異なる場合はご記入ください。
ウェブサイト	

提出書類(6)「収支予算書」に記載の額と一致しているか
ご確認ください。

2. 助成金申請額について

助成金申請額	万円（上限 50 万円、対象経費の 2 分の 1）
情報保障・ 鑑賞サービス費	万円（上限 5 万円、実費分）

当助成事業として採択されなかった場合、または助成額が要望申請額を下回った場合の申請事業実施について、
下記ア～ウのいずれかに ☒ をつけてください。

☐ ア 当助成事業の採択結果または助成額にかかわらず計画通り実施する。
☐ イ 助成額に応じて事業を縮小して実施する。
☐ ウ 助成額が _____ 円以下であれば中止する。
※ウを選択した事業は、審査委員会での評価が上記記入金額を下回った際は不採択となります。

3. 申請事業の概要について

事業の名称	提出書類(1)「申請書」に記載した事業の名称と 一致しているかご確認ください。
分野	☐ 音楽 ☐ 演劇 ☐ 舞踊 ☐ 伝統芸能 ☐ 美術 ☐ 工芸 ☐ 写真 ☐ 映像 ☐ 文学 ☐ 郷土史 ☐ 生活文化 ☐ その他（ ）
実施時期	複数分野の選択も可です。 日（ ） 3 月 16 日まで）の日いちをご記入ください。
開催場所・ 発信媒体等	
入場料・各種料金	☐ 無 料 ・ ☐ 有 料（ ） 円） ※複数の料金設定がある場合は最も販売数の多いものをご記入ください。
共催	仙台市を含む地方公共団体や、その設置施設・関係団体と 共催する事業は助成の対象となりません。 事業に上記の収入が入っていなければ、仙台市または仙台 市の関係団体・施設等と連携・協働することは可能です。 「協力・後援等」欄に記載してください。
協力・後援等	

事業概要 (150 字以内)	
-------------------	--

4. 事業計画について

※できるだけ具体的にご記入ください。

新規／継続事業の別	☐ 1. 新規事業 ☐ 2. 既存・定例事業であるが、新たな展開を行う事業 ☒ 2023 年度環境形成助成の採択事業から継続する事業
これまでの事業成果と新たな展開	これまでの事業で得られた成果と、今年度新たに取り組む展開について簡潔にご記入ください。 ※上記の「新規／継続事業の別」で2に ☒ した場合のみご記入ください。
企画意図・ねらい・目的	本企画に至った理由、事業によって達成したいねらいや目的をご記入ください。 仙台市の文化芸術環境の活性化やまちの魅力向上にどのように資する事業か、具体的にご記入ください。
手法	ねらい・目的を達成するための手法や、波及効果を生み出すための手法をご記入ください。 ※コンセプト設定、制作プロセス、表現手法、発信方法等をご説明ください。

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業
事業計画書

(B. 文化芸術と社会の連携推進事業)

1. 申請者（主催者）について

ふりがな	
団体名	※個人で申請する場合は、団体名の記入は不要です。
ふりがな	
代表者名	
ふりがな	
申請・連絡 担当者名	※代表者と異なる場合はご記入ください。
ウェブサイト	提出書類(6)「収支予算書」に記載の額と一致しているか

提出書類(6)「収支予算書」に記載の額と一致しているか
ご確認ください。

2. 申請区分・助成金申請額について

申請区分と 助成金申請額	☐ 通常枠：申請額 万円（上限 200 万円）	
	☐ スタートアップ枠：申請額 万円（上限 50 万円）	
※いずれか 1 つを選んで ☒ してください（併願不可）。		

当助成事業として採択されなかった場合、または助成額が要望申請額を下回った場合の申請事業実施について、下記ア～ウのいずれかに ☒ をつけてください。

- ☐ ア 当助成事業の採択結果または助成額にかかわらず計画通り実施する。
☐ イ 助成額に応じて事業を縮小して実施する。
☐ ウ 助成額が 円以下であれば中止する。

※ウを選択した事業は、審査委員会での評価が上記記入金額を下回った際は不採択となります。

3. 申請事業の概要について

事業の名称	提出書類(1)「申請書」に記載した事業の名称と一致しているかご確認ください。
分野	☐ 音楽 ☐ 演劇 ☐ 舞踊 ☐ 伝統芸能 ☐ 美術 ☐ 工芸 ☐ 写真 ☐ 映像 ☐ 文学 ☐ 郷土史 ☐ 生活文化 ☐ その他（ ）
実施時期	複数分野の選択も可です。 日（ ） 3月16日まで）の日にかちをご記入ください。
開催場所・発信媒体等	
入場料・各種料金	☐ 無 料 ・ ☐ 有 料（ 円）
共催	仙台市を含む地方公共団体や、その設置施設・関係団体と共催する事業は助成の対象となりません。 事業に上記の収入が入っていないければ、仙台市または仙台市の関係団体・施設等と連携・協働することは可能です。 「協力・後援等」欄に記載してください。
協力・後援等	

提出書類(1)「申請書」に記載した事業の名称と一致しているかご確認ください。

複数分野の選択も可です。

日 ()
3月16日まで)の日にかきこめてください。

仙台市を含む地方公共団体や、その設置施設・関係団体と共催する事業は助成の対象となりません。
事業に上記の収入が入っていなければ、仙台市または仙台市の関係団体・施設等と連携・協働することは可能です。
「協力・後援等」欄に記載してください。

手法	ねらい・目的を達成するための手法や、波及効果を生み出すための手法をご記入ください。 ※コンセプト設定、事業プロセス、多様な人が参画するための工夫や地域社会との連携方法等をご説明ください。なお、他団体・施設等と連携・協働する場合は、その名称も明記してください。
事業の詳細	申請事業の内容、実施時期、出演・参加アーティスト、回数、対象者等を<u>具体的</u>にご記入ください。 本様式に書き切れない事項は、提出書類(7)「事業内容に関する補足資料」を活用してください。
実施体制	企画・運営・会計・広報等にかかわる担当者名と役割をご記入ください。

事業後の 活動展開や目標	この助成事業での活動をステップとして、申請者が 2025 年以降にどのような事業を進めていくのか、持続可能な運営の仕組みづくりや活動展開や目標等をご記入ください。
	2025 年
	2026 年
特記事項 (記入は任意です)	

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、「事業計画書」全体として 4 ページ以内でまとめてください。

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業
申請者プロフィール（個人用）

申請者名		活動名・芸名 ※本名と異なる場合のみ記入	
居住地	都道府県名	市町村名	備考
			☐ 仙台市に通勤 ☐ 仙台市に通学
	※居住地が仙台市外の方で、仙台市に通勤・通学をしている場合は、「備考」に ☒ チェックをいれてください。		
略歴・業績	文化芸術に関する略歴・業績を記入してください。 書き切れない場合は、申請事業に関連する分野の略歴・業績に絞って記入してください。		
主な活動実績	イベント名・活動名、実施年月、実施場所、内容等をご記入ください。 市内の個人が申請する場合で、住所または通勤・通学地が仙台市内ではない場合は、仙台市内での継続的な文化芸術活動の実績があることがわかるよう記入してください。 書き切れない場合は、近年の実績に絞って記入してください。		

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、1 ページ以内でまとめてください。

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業

申請者プロフィール（団体用）

申請団体名	
代表者名	
構成員人数	名
収容人数・定員等	名 ※貴団体が施設を保有している場合のみご記入ください。
設立年	年
沿革・概要	
主な活動実績	イベント名・活動名、実施年月、実施場所、内容等をご記入ください。 市内の任意団体が申請する場合で、「団体構成員の概ね半数以上の住所が仙台市内であるか、仙台市に通勤・通学していること。」の要件に当てはまらない場合は、仙台市内での継続的な文化芸術活動の実績があることがわかるよう記入してください。

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、1ページ以内でまとめてください。

記入例

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業
団体構成員名簿

- ・居住地が仙台市外の方で、仙台市に通勤・通学をしている場合は、「○」をご記入ください。
- ・構成員が 10 名以上の場合は、主要な構成員 10 名についてご記入いただき、その他の方については「他○名」とまとめていただいても構いません。
- ・個人で申請する場合は提出不要です。

	氏名	役職・担当等	居住地		仙台市に 通勤・通学の 場合は○
			都道府県名	市町村名	
1	○○ ○○	代表	宮城県	仙台市	
2	○○ ○○	副代表	宮城県	仙台市	
3	○○ ○○	事務局長	宮城県	仙台市	
4	○○ ○○	会計	宮城県	仙台市	
5	○○ ○○	監査	宮城県	仙台市	
6	○○ ○○	顧問	宮城県	○○市	○
7	○○ ○○	団員	宮城県	仙台市	
8	○○ ○○	団員	○○県	○○市	○
9	○○ ○○	団員	○○県	○○市	
10	○○ ○○	団員	宮城県	仙台市	
11	他○名	団員	宮城県	仙台市	
12	他○名	団員	宮城県	市外	○
13	他○名	団員	宮城県外	—	
14	以上				
15					

※行が足りない場合は、適宜行を増やしてご記入ください。

A. 文化芸術の創造・発信事業 収支予算書 (1/2ページ)

	金額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
収入 予 算	事業収入 (参加費、入場料、制作物販売等の収入)	円
	助成金等収入 (当助成以外からの助成金、 企業協賛金、ご祝儀、寄付等)	円
	その他の収入 (広告収入、印刷物・関連グッズ等の 物販収入等)	円
	小計(A)	円 ※印刷物やCD・DVD、関連グッズの制作・販売を行う事業は、売上数に関わらず 制作数×価格の合計数を記入してください。
自己負担金(B)		円 ≪個人・団体資金、会員会費等≫
当助成事業の申請金額(C)		円 ≪①助成対象経費(E)の2分の1、②収支差額(G-A)、③50万円 の内、最も低い 額を上限として申請してください。≫
収入合計(D=A+B+C)		申請者の人件費を計上する場合は「一式」とせず、積算 根拠がわかるように記入してください。
支出 予 算	人件費 (企画料・出演料等)	円 事業計画書に書いた事業内容との関連が わかるように内訳を記入してください。 また、回数・人数を一致させてください。
	作品制作費 (制作のためのリサーチも含む)	円 内訳と合計金額が一致するか、必ず検算 をしてください。
	事業当日運営費 (当日のアルバイト代・資金含む)	円 備品・機材の購入にかかる経費は、対象経費欄・対象外 経費欄のいずれにも記入できません。
	広報宣伝費、印刷費	円
	物品購入費	円 【手話通訳費、音声案内費、ガイドヘル パー費、多言語翻訳費、託児費】等、情報 保障・鑑賞サービスにかかる経費は、助成 金申請額とは別に、5万円を上限に別途補 助申請できます。
	会場使用料 (付帯設備含む)	円 情報保障・鑑賞サービス費については、 2ページ目に計上してください。
	旅費交通費	円 情報保障・鑑賞サービス費が補助上限の 5万円を超える場合、超過分の額は対象 経費として計上することができます。
	その他の費用 (著作権料・振込手数料等)	円
	情報保障・鑑賞サービス補助 上限を超える経費	円 ≪2ページ目(a-b)の額がプラスとなる場合、その金額を計上してください。≫
	小計(E)	円
対象外経費支出(F) ※記載は任意です。		円
支出合計(G=E+F)		円 ※収入合計(D)と同額になるように記入してください。

A. 文化芸術の創造・発信事業 収支予算書 (2/2ページ)

【手話通訳費、音声案内費、ガイドヘルパー費、多言語翻訳費、託児費】等、情報保障・鑑賞サービスにかかる経費は、助成金申請額とは別に、5万円を上限に別途補助申請できます。
情報保障・鑑賞サービス費については、当ページに計上してください。
情報保障・鑑賞サービス費が補助上限の5万円を超える場合、超過分の額は対象経費として計上することができます。

	金 額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
情報保障・ 鑑賞サービス補助費(a)	円	
補助申請額(b)	円	≪(a)、または5万円のいずれか小さい額を上限として申請してください。≫
補助上限を超える額(a-b)	円	≪(a)の額が5万円を超える場合、1ページ目の「支出: 情報保障・鑑賞サービス補助上限を超える経費」欄に超過分の金額を計上できます。≫

B. 文化芸術と社会の連携推進事業 収支予算書

		金 額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
収 入 予 算	事業収入 (参加費、入場料、制作物販売等の収入)	円	
	助成金等収入 (当助成以外からの助成金、 企業協賛金、ご祝儀、寄付等)	円	
	その他の収入 (広告収入、印刷物・関連グッズ等の 物販収入等)	円	
	小計(A)	円	※印刷物やCD・DVD、関連グッズの制作・販売を行う事業は、売上数に関わらず 制作数×価格の合計数を記入してください。
自己負担金(B)		円	《個人・団体資金、会員会費等》
当助成事業の申請金額(C)		円	—
収入合計(D=A+B+C)		円	※支出合計(G)と同額になるように記入してください。

		金 額	積算内訳 ※単価や件数等を明記し、できるだけ詳しく記入してください。
支 出 予 算	人件費 (企画料・出演料等)		申請者の人件費を計上する場合は「一式」とせず、積算 根拠がわかるように記入してください。
	作品制作費 (制作のためのリサーチも含む)	円	事業計画書に書いた事業内容との関連が わかるように内訳を記入してください。 また、回数・人数を一致させてください。
	事業当日運営費 (当日のアルバイト代・賃金含む)	円	内訳と合計金額が一致するか、必ず検算 をしてください。
	広報宣伝費、印刷費	円	
	物品購入費		備品・機材の購入にかかる経費は、対象経費欄・対象外 経費欄のいずれにも記入できません。
	会場使用料 (付帯設備含む)	円	
	旅費交通費	円	
	その他の費用 (著作権料・振込手数料等)	円	
	小計(E)	円	
対象外経費支出(F) ※記載は任意です。		円	
支出合計(G=E+F)		円	※収入合計(D)と同額になるように記入してください。

2024 年度 文化芸術を地域に生かす創造支援事業
助成申請・採択実績書

当助成事業の申請者（団体）と同一申請者での助成申請・採択実績について、ご回答ください。

1. 2024 年度 公演・展示活動助成事業 第 1 期分申請事業について
(以下、選択肢がある質問については、該当するものに☑をつけてください)

申請事業の有無	☐ 申請事業が 2 つある (以下記入) ☐ 申請事業が 1 つある (以下記入) ☐ 申請無し		
事業名称①		申請金額	万円
当申請事業との関係性	☐ 上記の申請事業は、当助成への申請事業と <u>同一内容の事業である。</u> ※ ※両方の助成事業に採択された場合、いずれか一方を辞退いただくことになります。 ☐ 上記の申請事業は、当助成への申請事業と <u>異なる内容である。</u>		
事業名称②		申請金額	万円
当申請事業との関係性	☐ 上記の申請事業は、当助成への申請事業と <u>同一内容の事業である。</u> ※ ※両方の助成事業に採択された場合、いずれか一方を辞退いただくことになります。 ☐ 上記の申請事業は、当助成への申請事業と <u>異なる内容である。</u>		

2. 直近 3 年間(2021 年度～2023 年度)の当事業団助成事業に採択された事業について
(採択金額が高いものから事業を最大 5 つまでご記入ください)

	助成名称(*)	事業名称 (適宜略してご記入ください)	実施年度	採択金額
①			年度	万円
②			年度	万円
③			年度	万円
④			年度	万円
⑤			年度	万円

直近3年間に採択された事業がない場合は
「事業名称」欄に「なし」と記入してください。

- * 助成名称は略称を選択・記入してください。
- 旧助成 : 第 29～第 30 回支援・助成・協力事業 活動助成事業 (2021 年度)
 - メディア : 多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業 (2021 年度)
 - 会場助成 : 実演芸術の公演会場費助成事業 (2021 年度)
 - 活動助成 : 公演・展示活動助成事業 (2022～2023 年度)
 - 創造発信 : 文化芸術の創造・発信・普及助成事業 (2022 年度)
 - 環境形成 : 持続可能な未来へ向けた文化芸術の環境形成助成事業 (2021 年度～2023 年度)

※必要に応じスペースを拡大・縮小し、ご記入ください。ただし、1 ページ以内でまとめてください。

提出書類（７）事業内容に関する補足資料 作成の注意点

- 提出必須の書類です。
- 様式は任意です。図や写真も活用してください（カラー可）。
参考になるウェブサイト・動画等がある場合はURLを記載してください。
- A4判4枚以内で作成してください。
郵送で提出する場合は、片面印刷で提出してください。
印刷時に両端に2cm以上余白が生まれるよう調整してください。
- 「A. 創造・発信事業」枠は、制作・発信するものの詳細な企画書を必ず含めてください。
完成時・発信時のイメージがわかるよう、現時点で可能な範囲で具体的に記載してください。
【記載事項の例】
 - ・制作物のコンセプト
 - ・表現の手法
 - ・出演者・出品者・執筆者等のプロフィール 等
- 「B. 連携推進事業」枠は、今回取り組もうとしている地域や社会の課題や、
連携・協働団体に関する情報を含めてください。
- このほか、次のような事項を記載してください。
 - ・過去の活動の実績詳細、チラシ等広報物
 - ・継続事業の場合、これまでの事業の経過